

ボランティア活動報告 2015

『名取復興音楽祭2015』

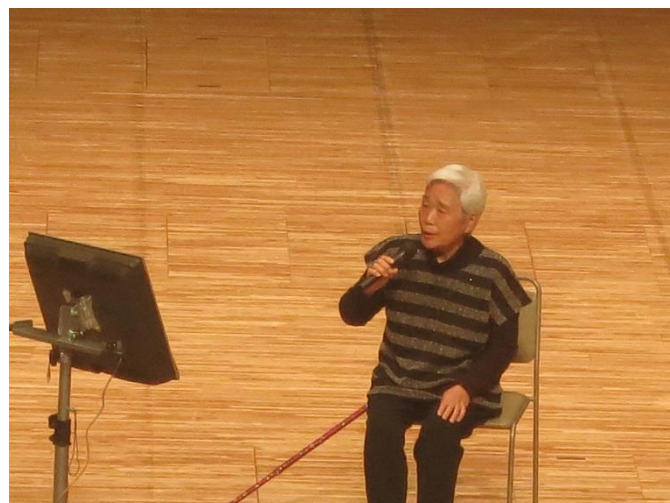
日時:2015年11月7日(土)~8日(日)

場所:名取市文化会館・大ホール



11月7日・8日に「名取復興音楽祭2015」が開催されました。復興音楽祭は、東日本大震災での被災者の方々と、支援者の方々が共に作り上げるステージです。1日目は合唱、2日目には演奏やダンス、カラオケが披露され、2日間を通し約450名がステージに立ちました。

震災から4年が経過し、力を合わせ復興に向け日々尽力しています。復興へ関わった方々への感謝や復興への道りを歩む自分たちへのエールを、音楽を通して表現しました。



出演者の方々はこの日のため、各仮設住宅の集会所やサロンで、日々の活動の合間を縫い仲間たちと練習を重ねてきました。「なかなか皆の予定が合わなかった」など苦労話も聞かれましたが、歌や演奏、ダンスはどれも見事なものばかりで審査員の方々を驚かせました。

カラオケ部門では、尚絅学院大学で行った市民交流サロンで予選を勝ち抜いた6名が、カラオケグランドチャンピオンの称号を賭け、自慢の歌声を披露し、会場を盛り上げました。



復興音楽祭の裏側では、学生たちの頑張りがありました。仮設住宅支援を継続的に行うボランティアチーム TASKIをはじめ、本学の人間心理学科の学生や京都から被災地見学に訪れていた同志社大学の学生が、ステージ裏や楽屋、受付で出演者の方々をサポートしました。

運営に関しましては、名取市内のみなし仮設にお住まいの方々をサポートされている名取市サポートセンターどっと.なとりさんと連携して進められ、名取市文化会館や名取市教育委員会の方々にも、多大なる協力をいただきました。様々な方々の繋がりを感じ、また新たな交流の輪を広げるきっかけとなった2日間でした。

☆復興音楽祭・写真コーナー☆



尚綱学院大学ボランティアチームTASKIの学生もステージに立ちました。複数の仮設住宅のメンバーからなるグラウニー合唱団とコラボし、合唱に合わせた手話を披露しました。

学生で結成しているダンスチームは、これまでも市民交流サロンや仮設住宅でのイベントでも活躍してきました。今回も踊りを披露し、温かな声援をいただきました。

ステージの上は勿論、楽屋でも素晴らしい笑顔カメラに向けてくれました。
来年の復興音楽祭でも、元気な姿でまた会いましょう！

